

# 令和4年度



～持続可能な地域を目指して～

# 新たな地域コミュニティ 推進に向けて

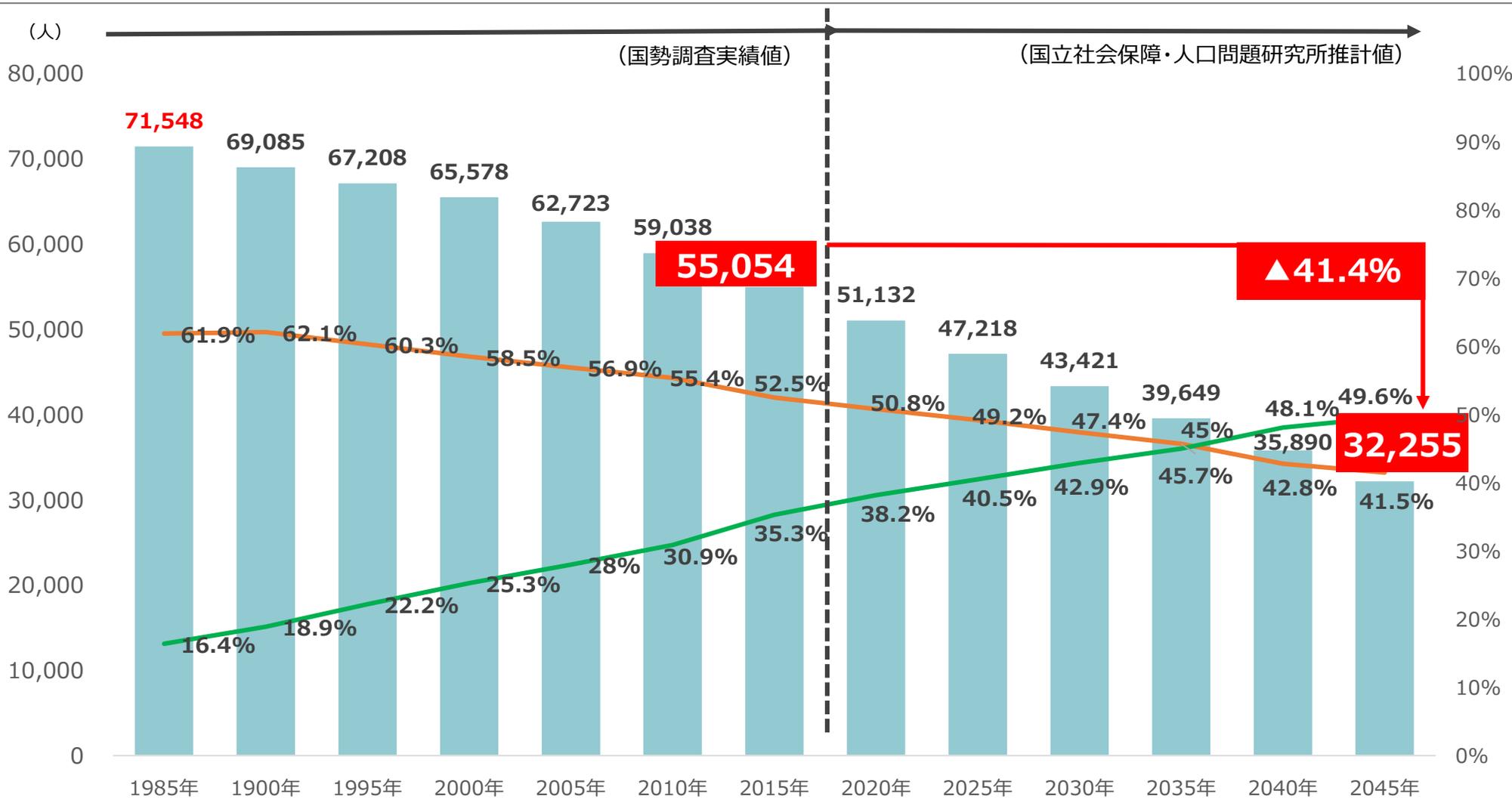
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です



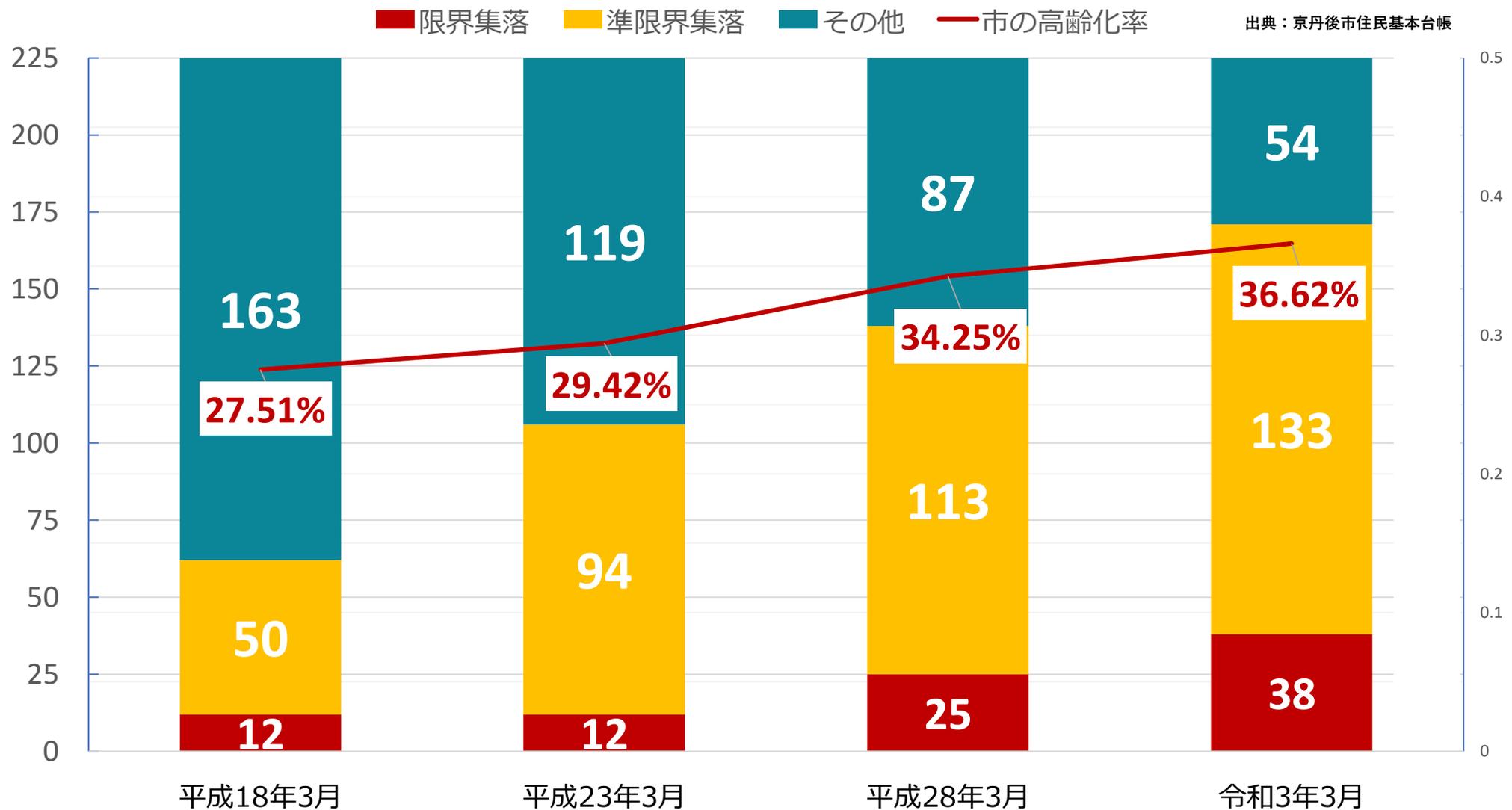
# 京丹後市の人口推移

- 2045年の推計人口は32,255人（2015年比41.4%減少）
- 2045年には概ね2人に1人が65歳以上となる見込み



(出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来推計)

# 行政区の高齢化の状況



人口減少や高齢化により、行政区の機能低下が懸念される

# 市の取り組み経過

平成28年12月

京丹後市まちづくり委員会より  
「持続可能な地域づくりに向けての提言書」

平成30年4月～

小規模多機能推進補助金を創設

令和元年度

市長公室・教育委員会事務局が主催し、各  
区長会等で説明会を開催  
持続可能な地域づくりについて  
～「新たな地域コミュニティ」の必要性～

令和3年4月

地域コミュニティ推進課を設置

# 人口減少や高齢化が地域に及ぼす影響

環境整備



防災活動



高齢者支援



祭り



子ども会



運動会



除雪



マルシェ



今後、地域活動が継続できなくなる恐れがある

# 行政区単独では解決できない課題の増加

例えば…

買い物



移動など生活支援



空き家



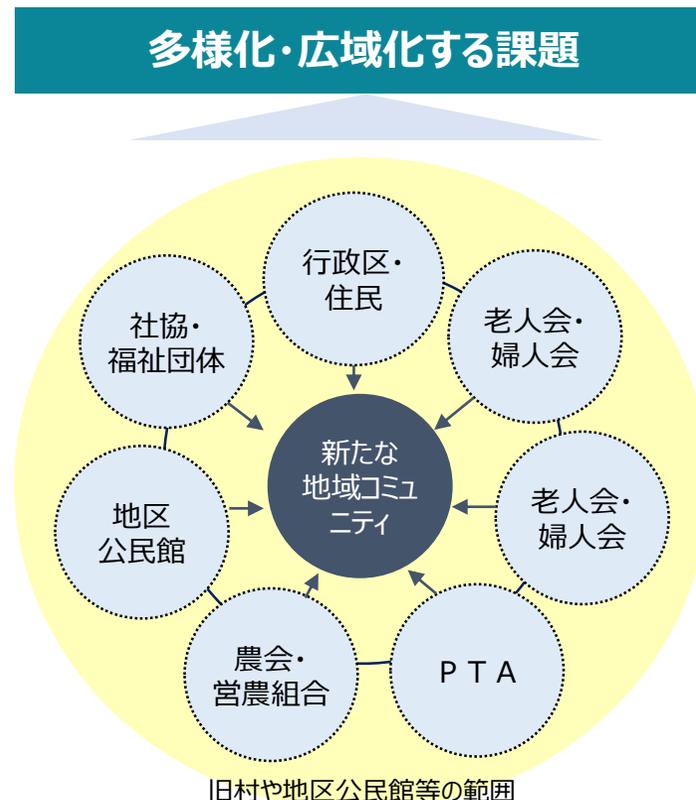
買い物や移動（民業の撤退）、空き家など地域課題が多様化



行政区単独では解決できない課題が増加している

# 地域づくりの実行組織の必要性

- 多様化する住民ニーズや広域化する課題が増加
- 従来の縦のつながりの関係から、横のつながりの関係を築くことが大切
- 行政区の枠組みを超えた**広域の範囲**で**地域づくりの実行組織**が必要



横の「つながり」が薄く、効果が限定的、各団体の機能低下や団体の解散が見受けられる

それぞれが持ち味を活かしながら「つながる」ことで効果を上げる事務局を設け、持続性を高める

区は  
そのまま

新  
コミュ

## 新たな地域コミュニティ

行政区を越えた広域で連携

若者や女性も活躍



新たな地域コミュニティの活動例 (イメージ)



現状把握  
活動整理

ありたい姿

多様な関わり  
※活動人口が増え多彩に

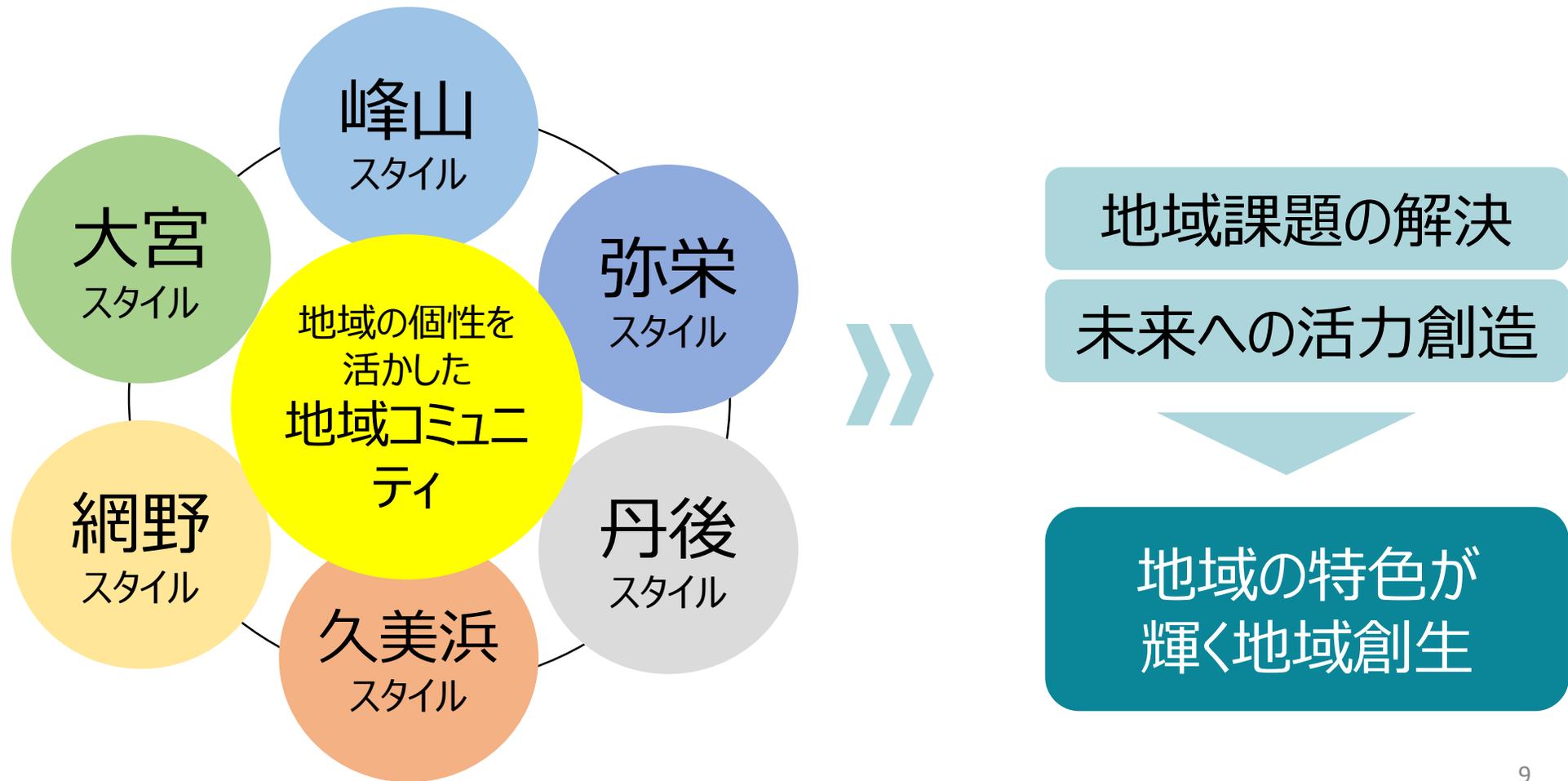
課題解決  
継承・活性化

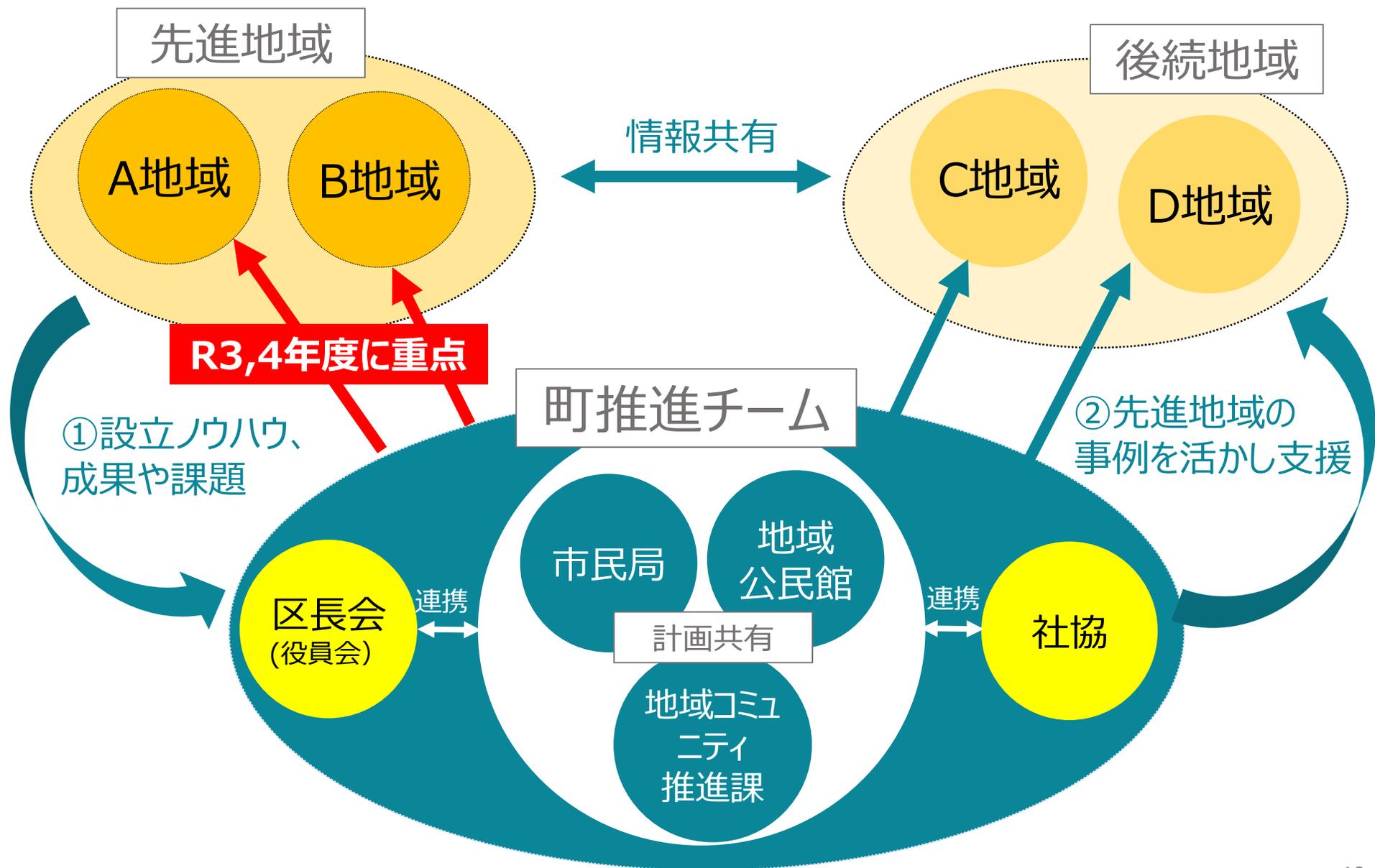


元気で楽しく住みやすい地域づくり

# 京丹後市のビジョン

- 旧 6 町ごとに自治仕組みや成り立ちが異なりそれぞれに特色がある
  - 他市町と比較しても各区の自治がしっかりしている
- ⇒ 区長会と連携し、地域の特性を生かした地域コミュニティ組織を設立





# 新たな地域コミュニティ設立までの流れ

- 地域の状況に応じた段階から取り組みをスタートし、ステップ3を目指す
- 市はステップに応じた人的支援、財政支援を行う



人的支援（コーディネーターの派遣、地域マネージャーの設置、町推進チームの伴走支援）

情報提供・共有（地域カルテ、情報交流会、広報）

# 新たな地域コミュニティ設立までの流れ

- 新たな地域コミュニティ組織にはできる機能から備えていただくこと期待
- 推進にあたっては行政の担当部局や社会福祉協議会など関係機関と連携

## ①地域防災（まもる）

地域防災計画の策定、避難所運営マニュアルの作成、防災訓練、防災リーダー育成、被災体験の共有など



## ④生涯学習（まなぶ）

多世代が集う取り組みの企画・開催（文化祭、運動会など）、地域の歴史文化を学ぶセミナーの開催など



## ②長寿福祉（ささえる）

サロンやカフェの開催、高齢者の見守り、生活相談窓口の設置、買い物や移動支援、福祉委員や民生委員との連携など



## ⑤関係人口（つなげる）

地域ファンづくり、空家活用（空き家の発掘、シェアハウスなどお試し住宅の運営）、移住希望者のサポート、体験交流イベントなど



## ③子ども（はぐくむ）

子どもの居場所づくり・地域版学童保育、登下校の見守り・声かけ、子ども食堂、ふるさと教育、地域体験など



## ⑥地域創生（かせぐ）

地域資源を活用した収益事業（ふるさと納税の返礼品等）、多面的機能支払交付金等の広域化、労働者協同組合の検討など、財源確保の取組



期待する  
6つの  
機能

### ポイント

- ・ インターネットやSNSを活用するなどして共感の輪を拡げる
- ・ 女性、若者などの参画を進め、プレイヤーの発掘や育成に務める
- ・ 個々の行政区で行った方が効果的なもの、狭い範囲で支え合った方が効果を期待できるものは、これまでどおり行政区として取り組む

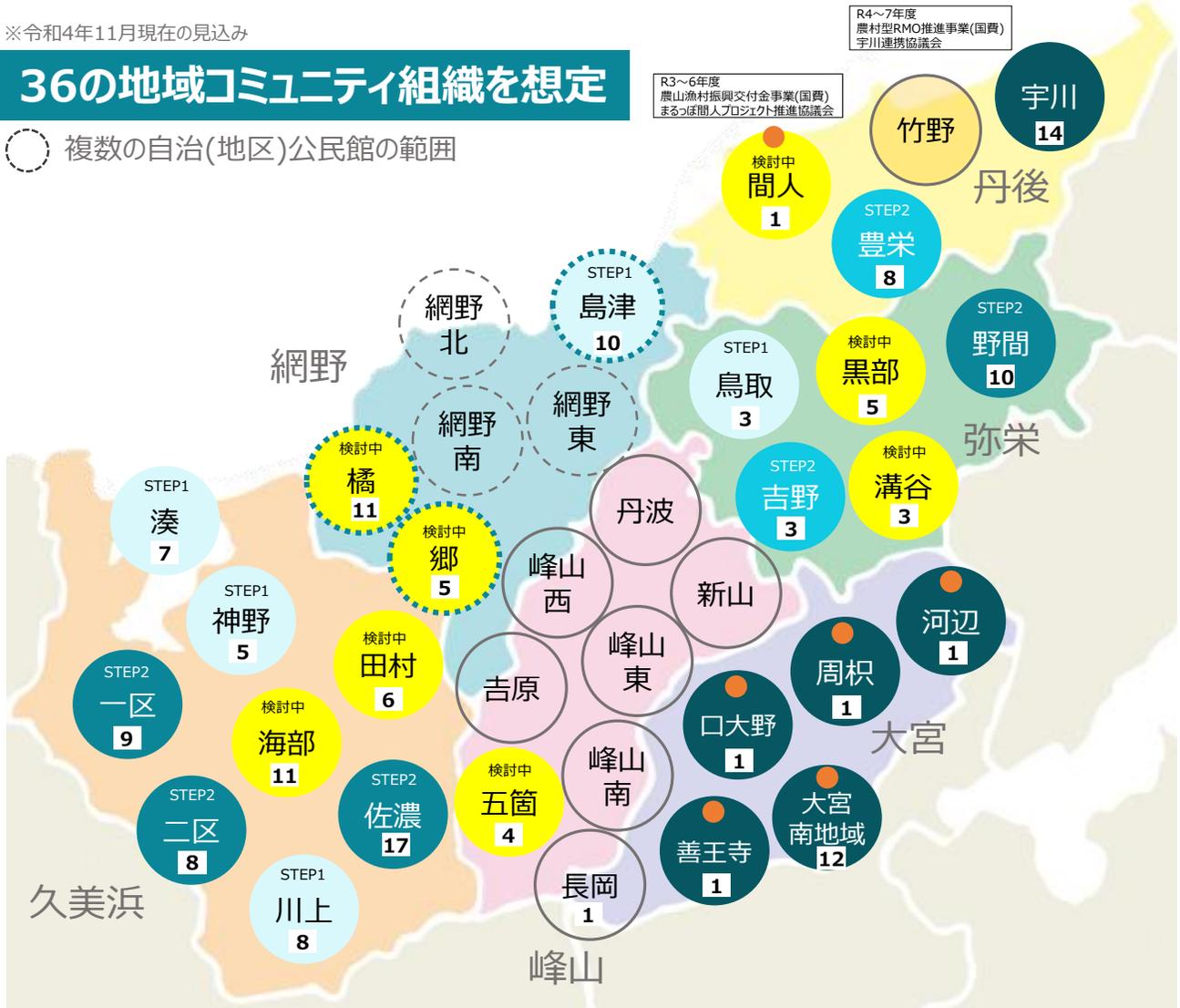
# 新たな地域コミュニティの進捗状況

- 行政区の機能低下が危惧される中、旧村や旧小学校区など広域で連携
- 若者や女性など多様な方が関わりながら、地域の活性化や課題解決に取り組む

※令和4年11月現在の見込み

## 36の地域コミュニティ組織を想定

○ 複数の自治(地区)公民館の範囲



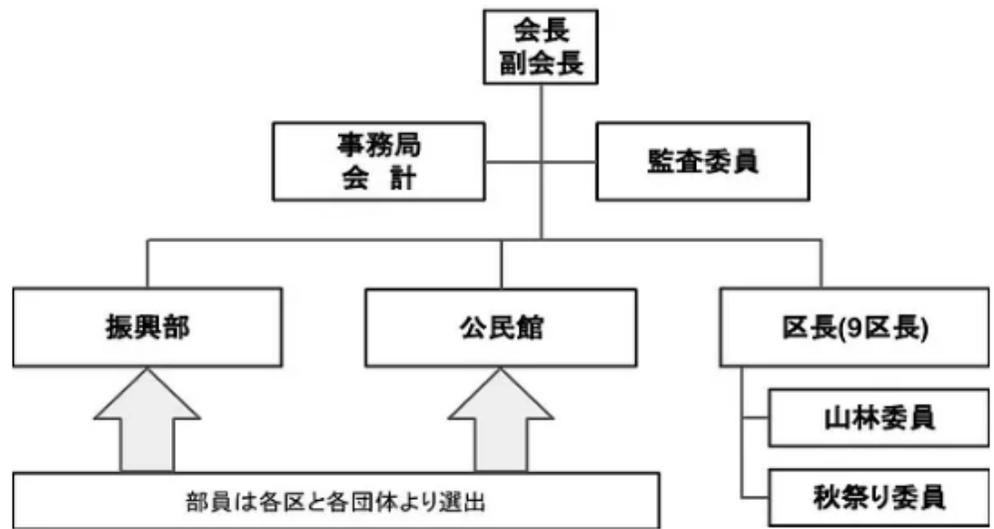
● STEP2 (2年目)	…4組織_44区
● STEP2 (1年目)	…2組織_11区
● STEP1	…5組織_33区
● STEP0(検討中)	…8組織_46区
● 国庫、区長会事業	…6組織_30区

**164区 / 225区(72.8%)で推進中**

● 500世帯以上の行政区(6)

# モデル地域 取り組み紹介 (一部抜粋)

団体名	久美浜一区自治会 (会長 谷口 潔)
構成する行政区	向町区、十楽区、仲町区、土居区、東本町区、西本町区、新町区、新橋区、栄町区 ※計9区
人口／高齢化率	1,580人／37.41%



	区	一区自治会
範囲	地域ごとの自治組織。 1つの区の世帯数はおおむね30～100世帯です。 地区の名前は「向町区、十楽区、仲町区、土居区、東本町区、西本町区、新町区、新橋区、栄町区」です。 それぞれ代表者として区長がいます。	9区の連合自治組織。 9区共通の課題解決に向けた取り組みやイベントの対応などを行います。 各区の区長が役員で、代表者として自治会長がいます。
普段の役割	ゴミの収集場所の提供、 回覧版などでの情報提供、 地域の清掃活動、子供会、 季節ごとのイベントなどがあります。	運動会、球技大会、敬老会、 空き家活用・まちづくり、 各区と行政とのつなぎ役、 河川の安全管理など1つの区ではできないことに対応します。
災害時の役割	避難誘導や安否確認など、地域で支えあい助け合います。	コントロールセンターとして、行政や関係団体と各区との、連絡調整を行います。

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局が地区要望の集約など区の運営支援を行うことで、各区長の負担軽減に繋がった</li> <li>区長業務や役員数の削減 (3割程度の削減)</li> <li>会議数の削減</li> <li>各団体で定期的に発行していた区民向けの便りをまとめ、「久美浜一区自治会だより」として事務局で作成。担当していた役員の負担が大きく減るだけでなく、情報が一元化され、発信する情報量の増加や取り扱う内容の拡がりにつながっている</li> <li>これまで取り組めなかった地域課題の解決に着手</li> <li>生涯学習事業の活性化につながった</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに役員や事務局長の報酬など事務局運営経費が発生</li> <li>後継者の育成・発掘</li> </ul>



水災害避難行動タイムラインを策定



生涯学習事業の活性化



京都外国語大学との連携



自治会だよりをWEBでも発行

団体名	佐濃自治会
構成する行政区	尉ヶ畑、奥山、二俣、小桑、佐野甲、佐野乙、佐野丙、安養寺、野中、郷、円頓寺、坂谷、長野、竹藤、女布、丸山、永留 (計17区)
人口／高齢化率	1,558人／40.95%



佐濃地区区長会      佐濃地区活性化協議会      佐濃地区公民館

### 【組織図の概要】

#### 名称: 佐濃自治会

- ◎ 佐濃の将来を見据え、継続的な取組ができる組織にしていく。
- ◎ 3年任期の会長・副会長、1日勤務の事務員を配置する。

#### 17集落区長会議(議決機関)

- ◎ 地域の課題を解決するため年間活動方針・計画・予算案作成
- ◎ 各集落の課題を把握し、佐濃として重点的な取組内容を設定

#### 佐濃地区公民館

- ◎ 自治会方針を受け文化、スポーツ活動、子育ての事業の展開

#### 専門部(旧活性化協議会の専門部移行)

- ◎ 自治会方針を受け住みよい地域づくりのための事業展開

H27年12月～28年1月  
各集落説明会実施

28年1月活性化  
協議会解散

28年2月区長会で17集落  
中14集落賛成で議決

28年4月佐濃自治会  
発足

平成28年4月、佐濃自治会は区長会、活性化協議会、地区公民館を一体化する形で誕生。「時代の変化に対応し、地域課題に機敏に対応していける組織が必要」という考えのもと、以前の区長会で1年だった会長の任期を自治会では3年に設定。さらに、同じく3年任期の副会長、1日勤務の事務員を設置し、体制を整えられた。

またアンケート調査を実施し、若年層の声を広い取り組みを進めた。  
※30代、40代の多くが今の体制の見直しが必要と回答されていた



水災害避難行動タイムラインを策定



生涯学習事業の活性化



京都外国語大学との連携



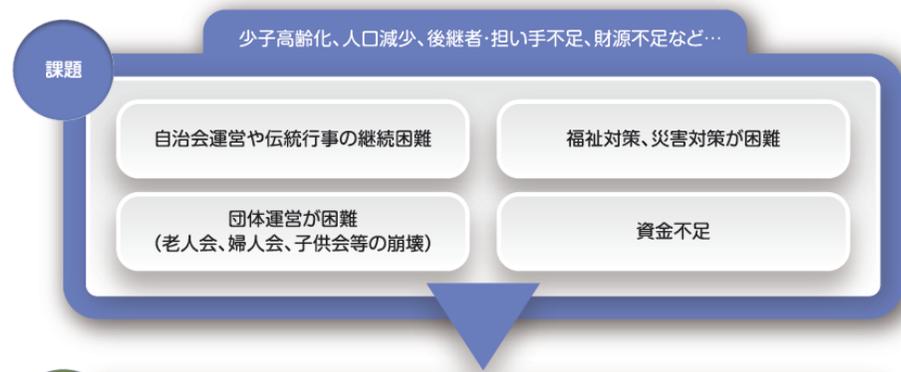
自治会だよりをWEBでも発行

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者が複数年に亘り自治会に携わることで取り組みの継続性が高まった</li> <li>代表者を集落の区長と兼務しない者としたことで、佐濃地域全体の課題に継続して取り組めるようになった</li> <li>集落をまたがる鳥獣害対策が可能となった</li> <li>小集落の除草活動の支援ができるようになった</li> <li>単独の区では取り組みにくい移住支援施策への着手</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに役員や事務局長の報酬など事務局運営経費が発生</li> <li>後継者の育成・発掘</li> </ul>

- H29町全員アンケート、R1～2のWS、ヒアリング等を経て地域ビジョン作成
- 地区公民館を発展的に解散し、まちづくり協議会を設立
- 旧保育所を拠点とした場づくり、若手による魅力発信事業に着手



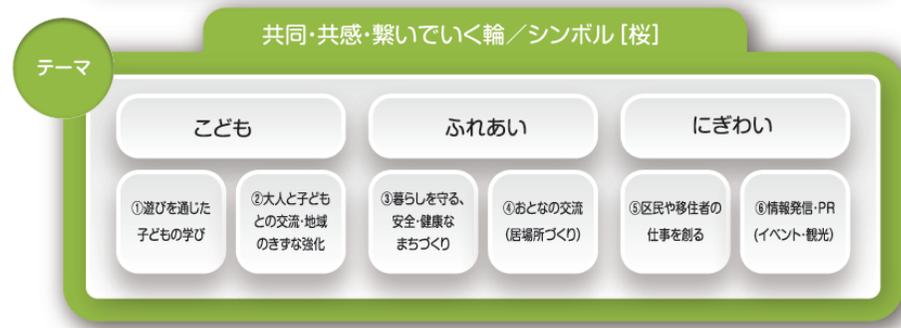
## 豊栄地域ビジョンの概念図



**地域マネージャー**  
地域外の人材が外部の視点で組織づくりや計画づくりを支援。各団体の連携を促進。協議会設立後（STEP2）も引き続き事務局として参画

目指す姿

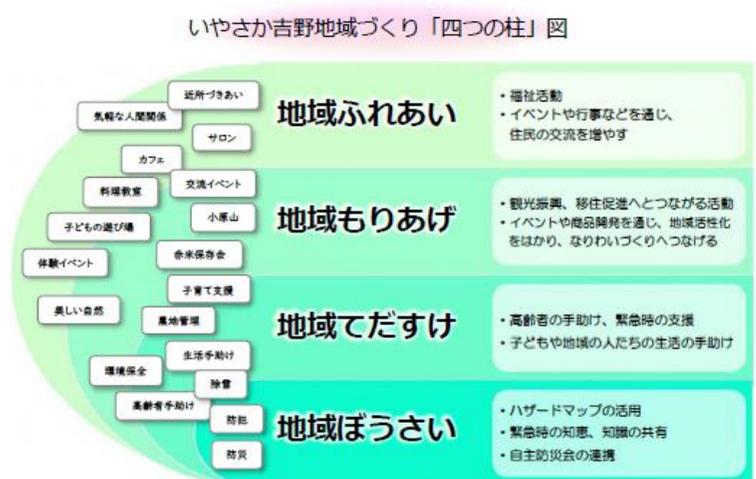
豊かな自然・伝統の中で、生き生きと暮らしている豊栄の人たちがいて、夢がかなえられるまち、かなえてくれる人がいるまち



- 地域づくり準備会でビジョンを作成、協議会へステップアップ
- 消防団や女性グループなどへ声をかけ、楽しみながら活動
- 公民館や福祉委員との連携促進



**地域マネージャー**  
 区の事務員が地域マネージャーを兼任。協議会立ち上げ後（STEP2）でも引き続き事務局を担っている。女性のサロンやビジョンづくり、広報などに注力。



- 3区で協議会を設立し、事業計画、部会づくり等に着手
- 地域防災、農地保全（協同労働）、大学生との連携事業などを検討



- 準備会を立ち上げ、ワークショップやアンケート調査を実施
- 自治会公認の若手チームが子供を対象としたイベント「ピチピチ祭」を開催



1/1  
新  
第2回  
湊地区  
未来を語る  
カフェ

子ども  
イベント

婚活  
イベント

観光  
イベント

料理  
イベント

第1回カフェで「湊地区でやってみたいこと」としてあがった4つのテーマを語り合いましょう。お気軽にご参加ください。

日時 2022.10.2 (日) 14:00-15:30

会場 ぎよそんセンター  
久美浜町湊宮1612-34

問合せ 湊地区自治会 (ぎよそんセンター内)  
0772-83-1618  
※13:00～16:30 月・日は休館

※新型コロナウイルス感染予防のためマスクの着用・手指消毒へのご協力をお願い致します

- 令和3年度の役員3人と令和4年度の役員3人で委員会を構成
- 高校生以上全員アンケート調査から地域計画を見直し
- 試行的に3組織を一本化 (統一会長を設置し、地域運営を効率化)



令和3年8月10日事業説明会の様子

### 川上地区これからのむらづくりを考える 全区民アンケートのお願い

令和4年8月  
川上地区自治振興会

川上地区自治振興会が発足して、12年が経とうとしています。計画の見直しの時期を迎えています。この間、少子高齢化、人口減、世帯数の減少が進んでいます。今後さらに進み、地域活動においても担い手が不足することが予想されます。その中でも、地域に住んでいる自分たちで、安全安心で住みやすいむらを目指していただけるようにこれから何を集中して取り組むのかを決めるために川上地区内でアンケートを実施するものです。

**アンケートの仕組み**  
 対象者：川上地区在住の高校生以上の区民  
 回収方法：各区でそれぞれの方法で回収します  
 その他：無記名方式

以下の質問につきましては、当てはまる番号に○をご記入ください。当てはまらない場合は、その他にご記入ください。「複数回答可」の項目もあります。

あなたご自身のことについておたずねします。

問1. あなたの性別は

1 男性	2 女性
------	------

問2. あなたの年齢は

1 16～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳
5 50～59歳	6 60～69歳	7 70歳以上	

問3. あなたのご職業は

1 主として農・林業	2 自営業 (商業・工業・サービス業等)
3 勤め人 (会社員等)	4 公務員、団体職員、教員等
5 学生	6 家事専業
7 アルバイト、パート	8 無職
9 その他 (具体的に )	

1

# 島津小学校区しましまベース (令和4年度～)

STEP1 

- 愛護会や公民館と連携し若者や子どもが楽しく関われる地域活動を企画
- 事業会社を設立し、地域内の空き家のリノベーション、活用に着手



第1回

## はじめてのお店

みせ だ  
お店を出してみよう!  
ひとりでも、友達や家族とでもOK!



自分で作ったものを売るのもOK!



仕入れたものを売ってもOK!



パフォーマンスを売るのもOK!

何を売ろう? いくらで売ろう? 何がよろこばれるだろう? なんていうお店にしよう?

はじめてでも大丈夫!  
ワークショップで  
みんなで考えよう!

本番まで  
2回あるよ!

応募してね! みんな集まれ★

自分のアイデアを試してみよう!  
仲間とお店をやってみよう!  
「あきない」について考えてみよう!

自分で作ったものを  
売ってみたい!

いつか  
社長に  
なりたい!

島津・仲巻寺・掛津・遊・三津の  
小学生・中学生が参加できるよ!

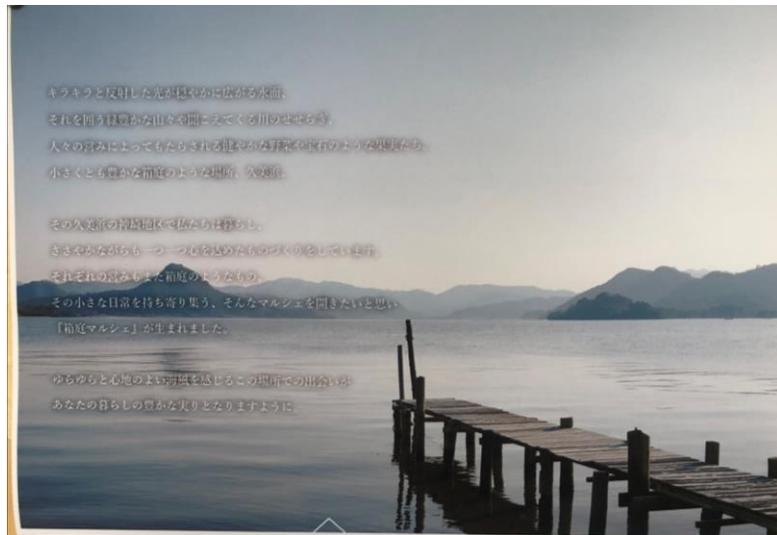
# 11.23 (祝・水)

会場：島津ふれあいセンター 大集会室

## 9:00-12:00

応募〆切：9月26日  
応募要項と応募方法はウラへ

- アンケート調査で協力者を募り、交流会やワークショップを計画
- 地域内の若手や移住者が箱庭マルシェを開催



2022. 11.20  
sun  
10:00 - 16:00

京丹後市久美浜健康センター  
京都府京丹後市久美浜町浦明 1050

amalune / 焼き菓子 / 地産の素材を使った焼き菓子販売  
ito / 刺繍作家 / ヘビー・キッズ刺繍小物・冬小物  
五一〇農場 / 農家 / 銀杏・いちじくコンポート・オリーブオイル・野菜  
山香社 / 自家焙煎珈琲 / ドリップコーヒー・珈琲豆販売  
にしまるふぁーむ / 農家 / 野菜 (トマト、さつまいも、大根etc)  
屋の本屋 / selected books  
milk the SORA / 乳に纏わる生活雑貨 / 無添加牛乳石鹸 etc  
余根田直樹・san sui craft コラボワークショップ / 木の切れ端でハンギングオブジェを作ろう  
福井ヒロミと仲間和紙アート展

【お問い合わせ先】  
箱庭マルシェ運営委員会  
mail: hakoniwa.marche@gmail.com  
tel: 090-9377-7020 (会報用)

コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで開催いたします。  
 ーお客様へのお願いー  
 マスク着用にご参加ください。  
 体調のすぐれない方はお控えください。